

**土研型センターホール型荷重計
GL-□NCB-□D
仕様書**

**株式会社東横エルメス
東亜エルメス株式会社**

2012.02.22

1. 概要

本器は独立行政法人土木研究所 土砂管理研究グループ地すべりチームが中心となって「アンカーへの取付・交換が容易な新型アンカー荷重計の開発」の共同研究成果として製品化したセンターホール型荷重計です。主として、既設アンカーのリフトオフ試験時に荷重計を設置して緊張力をモニタリングするためのものです。

2. 特長

薄型・軽量で取扱いが容易です。

特殊な荷重伝達機構の採用により、偏心荷重・繰返し荷重によるばらつきを極めて小さくしました。

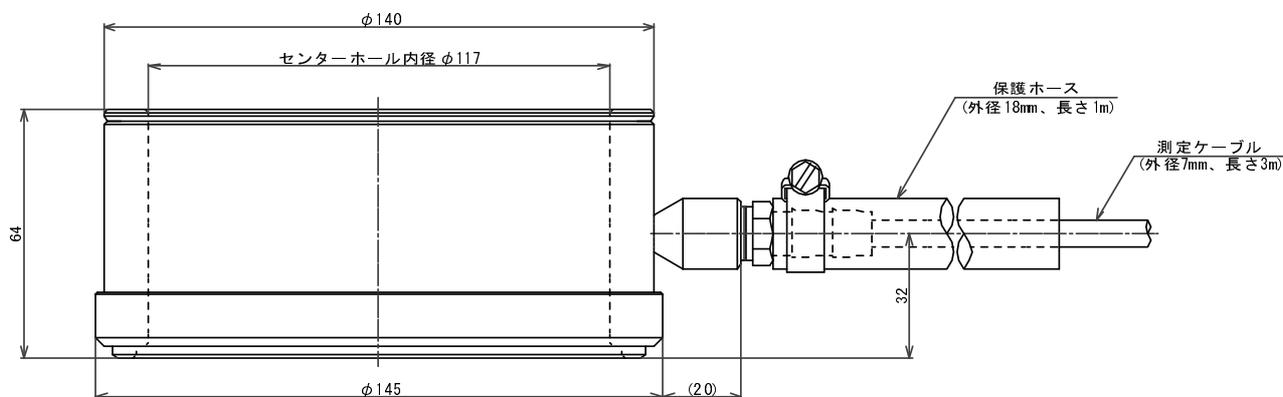
3. 仕様

型式	GL-500kNCB-□D	GL-1.0MNCB-□D
測定範囲	500 kN	1.0 MN
定格出力 (R0)	0.9 mV/V以上	
定格出力ひずみ	1800×10^{-6} st以上	
直線性	±2.0 %R0以内	
ヒステリシス	±0.5 %R0以内	
許容過負荷	120%	
許容温度範囲	-20~+80 °C	
許容耐水圧	0.8 MPa	
最大印加電圧	10 V	
入・出力抵抗	350 Ω ±2%	
絶縁抵抗	D C 25Vにて500M Ω 以上	
質量	約2kg	約4kg
ケーブル	S 4-3 (0.3mm ² 4心、シングルシース)	
ケーブル標準長	3 m	

※型式の□内はセンターホール径(mm)が入ります。

4. 外観図

4.1 型式：GL-500kNCB-117D



4.2 型式 : GL-1.0MNCB-146D

